

# 生徒指導通信 潮 路

№5 平成21年9月 波崎第四中学校生徒指導部発行

## 今月の生活目標

- 2学期の計画と生活目標を立てよう
- 規則正しい生活をしよう

完全下校時刻：18時30分

## リズムある2学期のスタートを！！

長かった夏休みも終わり、いよいよ2学期となりました。夏休みは大きな事故もなく、元気に過ごすことができたことをうれしく思います。2学期は1年の中で一番長い学期で、体育祭、文化祭などの大きな行事があり、この学期の過ごし方は非常に重要です。何事にもスタートダッシュが大切です。生活面・学習面・部活動等で、それぞれの目標を定め、目標実現のために思う存分力を発揮してください。



※できたものにチェックを入れてみましょう。

## 夏休みの生活を振り返ろう

- 基本的な内容の復習をしよう。(漢字・計算・英単語など)
- 得意な科目に力を入れよう。(これだけは自信があるという科目をつくろう)
- 学校から出された課題は、夏休み期間中に完了できるように、計画を立てよう。
- 多くの本を読むようにしよう。(読書は心の栄養である)
- 部活動を休まず頑張ろう。(粘り強い心と体をつくろう。目標を設定し計画的に実践する。)
- 家族の一員であることを認識し、家の手伝い等協力して生活することの大切さを学ぼう。
- 進路について話し合う時間を持ち、納得のいく進路選択と目標実現に向けた計画的な学習をしよう。

## おねがいます

9月5日(土)体育祭に向けての練習が始まりました。本年は練習日が4日と非常に短く、例年以上に練習に熱が入っています。日中はまだまだ暑さが厳しいです。早寝早起き、朝食をしっかりと食べて健康には十分配慮して登校しましょう。汗拭きや水分補給などをしっかりとし、体調管理をしっかりとさせて取り組んでいきたいと思えます。生徒の頑張っている姿を是非ご覧ください。



※体育祭終了後の生徒のみによる、打ち上げ(食事会・カラオケ等)は禁止です。

## ふるやのもり むかしばなし

むかしむかし、雨のふるくらい晩、おじいさんが子どもたちに、話を聞かせていました。  
「じいさま、一番怖いもの、何だ？」  
「・・・そうなの、人間ならば、泥棒が一番怖い」  
ちょうどその時、泥棒がウマ小屋のウマを盗もうと、屋根裏にひそんでいました。泥棒が、これを聞いてニヤリ。(ほほう。この俺が、一番怖いと)  
「じいさま、けもので一番怖いもの、何だ？」  
「けものならば、・・・オオカミじゃな」  
「じゃあ、オオカミより怖いもの、何だ？」  
「そりゃ、ふるやのもりだ」  
ウマを食べようと、ウマ小屋にひそんでいたオオカミは、それを聞いて驚きました。ふるやのもりとは、古い屋根からポツリポツリともる、雨もりのことです。けれど、オオカミはそんなこととは知りません。  
「おらより怖い、ふるやのもりとは、いったいどんな化け物だ？」  
と、ガタガタふるえだしました。  
屋根裏の泥棒も、話を聞いてヒザがガクガクふるえています。  
「ふるやのもりというのは、どんな物だ？」  
と、ビクビクのところへ、ヒヤリとした雨もり(ふるやのもり)が、首にポタリとおちました。  
「ヒューッ！ で、でたあー！」  
泥棒は足をふみはずして、オオカミの上にドシン！  
「ギャーッ！ ふ、ふるやのもりが、きたあっ！」  
オオカミはドシンドシんと、あちこちぶつかりながら、ウマ小屋から飛び出しました。  
振り落とされては大変と、泥棒は必死にオオカミにしがみつき、オオカミは振り落とそうと、メチャクチャに走り続けます。  
夜明けごろ、うまいぐあいに、つき出ている木の枝を見つけたどろぼうは、ヤァー！ と飛びついて、そのまま高い枝にかくれてしまいました。  
「たっ、助かった」  
オオカミのほうは、背中にくっついてきた物がとれて、ホッとひといき。  
「だが、まだ安心はできん。ふるやのもりは、きっとどこにかくれているはず。友だちの強いトラに退治(たいじ)してもらおう」と、トラのところへ出かけました。  
話を聞いて、トラも恐ろしくなりましたが、いつもいばっているオオカミの前で、そんなことは言えません。  
「ふるやのもりという化け物、必ず、わしが退治してやる。安心せい」  
トラとオオカミは、一緒に、ふるやのもりをさがしに出かけました。  
すると、高い木のとっぺんに、なにやらしがみついています。  
オオカミがそれを見て、ガクガクとふるえだしました。  
「あ、あれだ。あ、あれが、ふるやのもりだ」  
「なに、あれがそうか。なるほど、恐ろしい顔つきをしておるわい」  
トラは、怖いのをガマンして、ウォーッ！ ウォーッ！」と、ほえながら木をゆさぶりました。  
すると、どろぼうが二匹の上にドシン！ と落ちてきました。  
「キャン！」  
「ニヤーン！」  
トラとオオカミは、なさけない悲鳴をあげながら、逃げて行きました。  
どろぼうは、地面に腰を打ちつけて大げがをし、オオカミは、遠い山奥に逃げ、そしてトラは、海を渡って遠い国まで逃げて、二度と帰ってはきませんでした。



教訓・・・みなさんはこの話から何を学びましたか？